

令和4年度 第3回苫小牧市文化財保護審議会 会議概要

日 時：令和5年3月23日（木）15：00～15：35

会 場：苫小牧市役所第2庁舎 2階北会議室

○出席委員 蓑島会長、木村(義)副会長、明村委員、大西委員、佐藤委員、
角田委員、中村(誠)委員、
7名出席（欠席3名：木村(由)委員、中村(努)委員）、林崎委員

○教育委員会：福原教育長
（事務局）生涯学習課：河本課長、斉藤課長補佐、野水主査
美術博物館：藤原館長、岩波学芸員、岡本学芸員

1 開 会

2 苫小牧市指定有形文化財の指定について（答申）【議事（1）】

◆令和4年4月1日付け苫教美博第55号で諮問のあった「タブコブ遺跡出土の遺物」の苫小牧市指定有形文化財の指定について、「重要な物品であり、苫小牧市指定有形文化財に指定し、保存・活用を図るべき」の内容にて、蓑島会長より福原教育長に答申。（答申書を提出）

3 会長挨拶 蓑島会長より挨拶

4 議 事

（2）令和4年度文化財保護保存事業報告について

◆文化財の保護事業として実施した、（1）静川遺跡誘導路案内看板の修繕、（2）静川遺跡ほか、指定文化財の草刈り、（3）苫小牧縄文会との連携による静川遺跡の樹木剪定等の3事業と文化財保護保存事業として実施した（1）文化財発見ツアー、（2）文化財スタンプラリー（新規事業）の2事業の内容等について事務局より報告。

（3）令和5年度文化財保護保存事業について

◆文化財の保護事業については、市所有の静川遺跡ほか、指定文化財の草刈りや修繕など保存のために必要な適切管理を継続していくことを説明。文化財保護保存事業については、文化財発見ツアーの訪問先が静川遺跡・勇武津資料館・北海道大学苫小牧研究林森林記念館であること。文化財スタンプラリーについては、今年度の反省点を踏まえ、実施時期・内容等について現在、検討協議中であること。新規文化財を掲載した「とまこまいの文化財」改訂版の作成等について事務局より説明。

○各議事ごとの質疑応答

《(2) 令和4年度文化財保護保存事業報告について》

- 委員：スタンプラリーが11月に実施されたが、参加者から実施時期等の意見はなかったか。
- 事務局：参加者から、実施時期についての意見は聞かれなかったが、事務局としては、暖かい時期の実施も含め開催時期については検討していく必要があると考えている。
- 委員：小・中学生の休みの時期（夏休み）の開催など、多くの市民に興味を持ってもらえるよう、十分に検討を進めてほしい。
- 事務局：来年度も実施する事業であるので、いただいた意見も参考に取組んでまいりたい。
- 委員：小学校など学校において、課題などの位置づけにはできないのか。
- 委員：社会科授業などで歴史を学ぶ機会はあるが、それ以上の位置づけは難しいのではないかと。ポスターや資料等の配布周知などは可能ではないか。
- 事務局：周知の部分では小中学校全学級にポスター配布は実施したが、効果的な方法を検討したい。
- 委員：スタンプラリーの仕組みは良いと思う。景品のクリアファイルを活用して、尋ねた場所にシールを張っていくなど、ゲーム的要素を取り入れた事業展開をしていくことも検討していく必要があるのではないかと。場所の選定よりも、実施時期等についての検討が必要と考える。
- 会長：スタンプラリーの集客は難しい課題と考える。取り組みとしては非常に面白いと考えるので皆さんからもアイデアがあれば寄せてほしい。
- 委員：以前、縄文会の会員で縄文焼きの体験会などが実施されていたと思う。静川遺跡の樹木剪定などと併せて、そのような体験会が開催出来れば良いのではないかと。そのような働きかけを実施して欲しいがいかがか。
- 事務局：縄文焼きの体験会は数年、実施されていない。現在は縄文時代に関連した内容の講演会等が主な活動と認識している。ご提案内容の可能性について縄文会に打診してみる。

《(3) 令和5年度文化財保護保存事業について》

- 委員：現在、美術博物館で企業所有の絵などを展示する企画展が開催されており、良い企画と考える。今後、市民が所有する貴重な歴史的な品々を一定期間展示する企画などを実施したら良いと考えるがいかがか。
- 事務局：現在、美術博物館で実施されている事業は「美術館友の会」の声かけに市内企業の賛同をいただき、美術館友の会主催事業として実施されているものである。個人の所有物を展示する機会としては昨年、「あみゅー大博覧会」を実施した。美術博物館では膨大な資料を所有しているが、なかなか展示する機会のない貴重な資料を市民の皆さんに見ていただく内容となっている。博物館・美術館としての展示物については、本物かどうか等についての検証が必要であり、確認作業も非常に時間を要することから、個人の所有物の展示についてはハードルが高いと考える。しかし、貴重な物やなかなか目に触れないものを取り扱うことは重要な

ことと考える。今後、考えていかなければならないと思う。

委員：大変だろうが、ぜひ検討して欲しい。

委員：スタンプラリーは対象等は制限しているのか。

事務局：全市民を対象に実施している。

委員：自分が所属する団体で苫小牧市の公式ラインを利用させていただき「まちづくりアンケート」を実施したが、1日で500件の回答が得られた。公式ラインやSNSなどのツールを活用した展開は効果が大きいと考える。

事務局：今後の文化財の周知、発展の取組としては重要なツールと考える。多様な方面との連携等も検討しながら、事業に取組んでいきたいと考える。

委員：クリアファイルは、今回作成したものか。

事務局：以前、作成したものをスタンプラリーの景品として活用した。

会長：折角のグッズである、事務局には活用方法についても検討して欲しい。

会長：他に何かあるか。無ければ本日の議事はこれで終了させていただく。皆様、お忙しいところ有難うございました。

5 その他

【各委員、事務局ともになし】

会長：他に何かありますか。無ければ本日の議事はこれで終了させていただく。皆様、お忙しいところ有難うございました。

15:35 閉 会